



平成 23 年 7 月 27 日

各 位

会 社 名 J X ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 高萩 光紀
コード番号 5020 東・大・名証第1部
問合せ先 財務IR部IRグループマネージャー
山本 真義
(電話番号 03-6275-5009)

当社子会社におけるペルー共和国ケチュア銅鉱床開発プロジェクトの フィージビリティスタディの終了並びに今後の対応について

当社子会社のJ X 日鉱日石金属株式会社（本社：東京都千代田区大手町二丁目，社長：岡田昌徳）および三井金属鉱業株式会社（本社：東京都品川区大崎一丁目，社長：仙田貞雄）の共同出資による銅事業会社パンパシフィック・カッパー株式会社（本社：東京都千代田区大手町二丁目，社長：足立吉正）は，ペルー共和国ケチュア銅鉱床開発プロジェクトのフィージビリティスタディ（鉱量計算、設備の基本設計、経済性評価等）を終了し、今後の対応について添付のとおり、決定いたしましたので、お知らせいたします。

以 上

「添付資料」

ペルー共和国ケチュア銅鉱床開発プロジェクトのフィージビリティスタディの終了並びに
今後の対応について

2011年7月27日

各 位

J X 日 鉱 日 石 金 属 株 式 会 社
三 井 金 属 鉱 業 株 式 会 社
パ ン パ シ フ ィ ッ ク ・ カ ッ パ ー 株 式 会 社

ペルー共和国ケチュア銅鉱床開発プロジェクトのフィージビリティスタディの終了
並びに今後の対応について

J X 日 鉱 日 石 金 属 株 式 会 社（本社：東京都千代田区大手町二丁目，社長：岡田昌徳）お
よび三井金属鉱業株式会社（本社：東京都品川区大崎一丁目，社長：仙田貞雄）の共同出
資による銅事業会社パンパシフィック・カッパー株式会社（本社：東京都千代田区大手町
二丁目，社長：足立吉正 以下「P P C」）は，2009年12月より本年7月までの間，ペ
ルー共和国ケチュア銅鉱床開発プロジェクト（以下「ケチュアプロジェクト」）のフィージビ
リティスタディ（鉱量計算、設備の基本設計、経済性評価等）を実施してまいりました。

その結果，一定の銅価を前提とすれば，経済性のある開発は可能との評価を得ましたが，

- ① 所期の想定に比して埋蔵鉱量が減少し，建設費が増加していることから，今後の銅
価の動向等の投資環境を見極めつつ，周辺鉱床のポテンシャル検証やコスト改善等，
経済性をさらに追求する必要がある
- ② 2013年の生産開始を目指しているチリ共和国カセロネス銅・モリブデン鉱床開発プ
ロジェクトが2012年には建設のピークを迎えることから，まずはこれに全力を傾注
する必要がある

等の事情を踏まえ，開発への移行およびその時期については，今後検討を重ね，判断する
ことといたします。

P P Cでは，原料の安定調達を図る観点から，引き続き自山鉱比率の向上を目指してお
り，有望鉱床探索のための探鉱や鉱山権益の取得を積極的に行ってまいります。

以上

【お問い合わせ先】

JX 日 鉱 日 石 金 属 株 式 会 社 総 務 部 広 報 担 当：TEL 03-5299-7079

三井金属鉱業株式会社 総務部広報室：TEL 03-5437-8028

パンパシフィック・カッパー株式会社 総務部：TEL 03-5299-7402